

学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

～働きやすい環境づくりのために～

ニュースレター

2022年8月



Vo.4

あさがお

教職員の勤務実態等に関するアンケートについて

昨年2月に実施しました『教職員の勤務実態等に関するアンケート』では、たくさんの先生方から回答をいただくことができました。ありがとうございました。今回のニュースレターでは、アンケートの結果をご報告いたします。

アンケート実施概要

- 1 目的** 市立小学校・中学校教職員の、各業務の従事時間や負担感等を把握し、「学校改革！教職員の時間創造プログラム」における取組の成果を検証するため。
- 2 調査期間** 令和4年2月15日（火）～3月7日（月）
- 3 対象**
 - (1) 調査対象職種
校長、教頭、主幹教諭、教諭、講師、養護教諭、栄養教諭、事務職員等の常勤職員（給食技師及び学校主事は除く）
 - (2) 調査対象校数、対象者数、回答者数及び有効回答数
 - ① 勤務実態に関するアンケート 対象校：熊本市立小中学校63校（小学校46校、中学校21校）
対象者数：2,116人 回答者数：1,533人 ※ 学校規模、行政区ごとの学校数及び教職員数を考慮して抽出。
 - ② 意識調査に関するアンケート 対象校：全熊本市立学校146校（園）
対象者数：4,319人 回答者数：3,078人

アンケート結果

1 各業務の従事時間と負担感(平成29年度からの推移)

《表の見方》

上段：直近の【平日5日間】を振り返って【平日1日あたり】にならした業務時間
下段：「負担がある」「どちらかといえば負担がある」と答えた割合

【成績処理】

	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	0:41	0:41	0:41	0:40	0:51
	53.7%	57.3%	50.1%	54.0%	57.0%
中学校	0:54	0:53	0:49	0:48	1:07
	53.8%	56.0%	51.1%	52.1%	55.2%

・「成績処理」の従事時間が小中学校ともに増加しているのは、調査開始を例年より1週間遅らせたことや、期間を延長したこと（R3.2.8～22⇒R4.2.15～3.7）から、従来調査後に行っていた事務処理期間と重複したためと考えられる。

【学校行事】

	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	0:13	0:13	0:15	0:10	0:11
	41.8%	45.4%	44.4%	40.0%	21.9%
中学校	0:15	0:19	0:13	0:12	0:15
	37.3%	37.5%	39.8%	32.3%	18.1%

・「学校行事」の負担感が減少しているのは、コロナ禍により、実施の見送り、内容の見直し等を行ったことによるものと考えられる。

【給食費・学校徴収金関連業務】

	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	0:06	0:07	0:06	0:07	0:06
	52.9%	51.2%	50.7%	47.2%	22.6%
中学校	0:03	0:04	0:05	0:02	0:04
	40.9%	38.4%	36.6%	28.1%	16.0%

・「給食費・学校徴収金関連業務」の負担感が大きく減少しているのは、学校給食費・徴収金システム導入の効果が表れてきたものと考えられる。しかし、事務職員の負担増については今後検討していく必要がある。

- H29と比較して、従事時間が5分以上短くなった又は負担感が5ポイント以上減った項目
- H29と比較して、従事時間が5分以上長くなった又は負担感が5ポイント以上増えた項目

【部活動】

	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	0:31	0:25	0:16	0:10	0:02
	59.7%	55.0%	49.0%	43.6%	5.1%
中学校	1:02	1:03	1:04	1:04	0:15
	57.8%	53.7%	50.3%	51.0%	11.3%

・「部活動」の従事時間・負担感が大きく減少しているのは、調査期間が「まん延防止等重点措置」の適用期間と重複し、活動が制限されていたためと考えられる。

【調査回答その他の事務】

	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	0:18	0:15	0:13	0:12	0:11
	79.9%	72.8%	70.3%	64.5%	47.9%
中学校	0:18	0:14	0:13	0:12	0:11
	68.9%	67.7%	60.5%	62.3%	45.8%

・「調査回答その他の事務」の負担感が減少しているのは、諸調査の精査及び削減による取組の効果が表れているものと考えられる。

【指導要録関連作成業務】

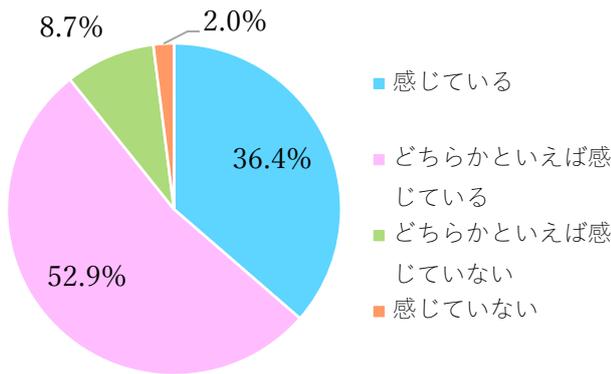
	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	82.9%	80.5%	74.2%	74.2%	71.4%
中学校	76.2%	53.9%	71.8%	70.2%	72.1%

・「指導要録関連作成業務」の負担感については、減少傾向にあるが、依然として7割以上の教職員が負担に感じている。

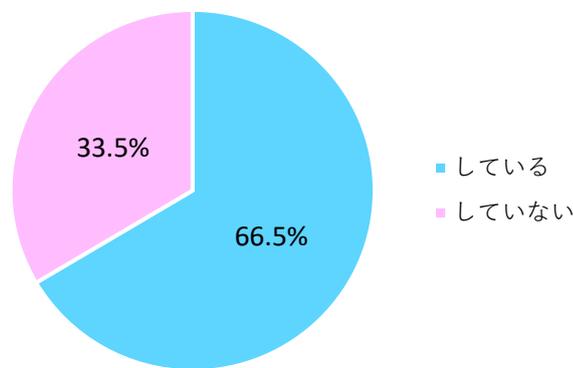
各業務の従事時間と負担感の推移から、29年度からの取組の成果は表れていると感じられます。特に、システムの導入により負担が軽減された業務が多く見られました。

2 意識に関すること

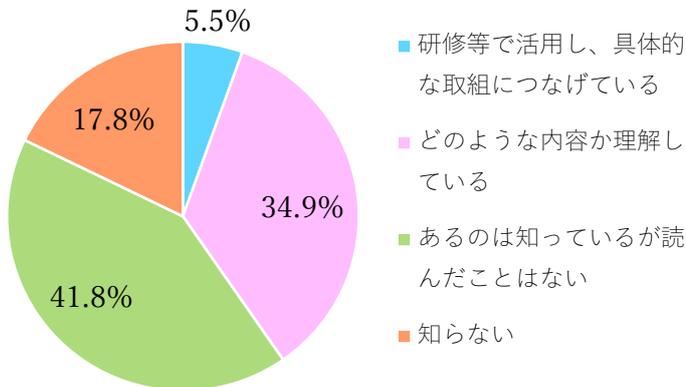
・現在の仕事にやりがいを感じていますか。



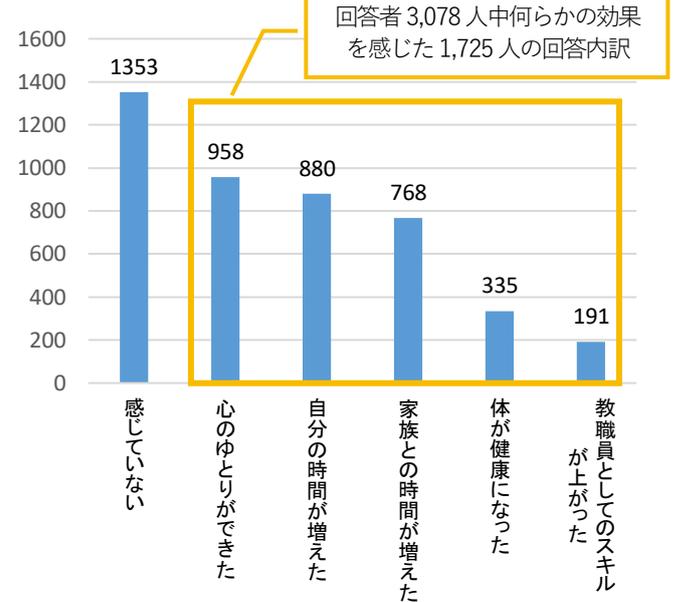
・あなたの学校では、働き方改革の目的や目標について職員全体で共有していますか。



・学校改革！教職員の時間創造プログラムについてどのくらい知っていますか。



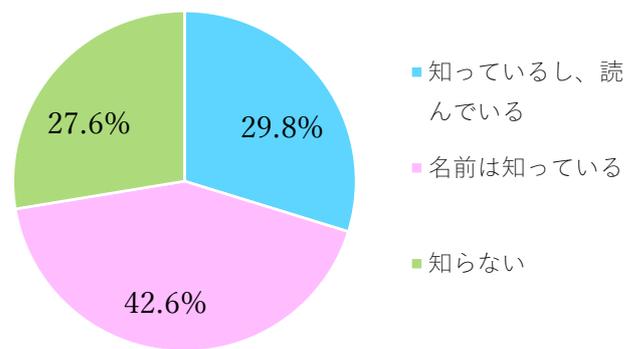
・どのようなことで働き方改革の効果を感じていますか。(複数回答可)



現在の仕事にやりがいを「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答された先生方の割合がおよそ9割と、大変高い結果が出ています。多くの先生方が、教職員という仕事に誇りをもたれ日々の教育活動に邁進されているのだと感じました。

また、回答された先生方の56% (3,078人中 1,725人) が働き方改革の何らかの効果を感じられているということが分かり、嬉しく思いました。今後も、各学校と園において、働き方改革の目的や目標を共有され、取組を進めていただきたいと思ひます。

・ニュースレターについて知っていますか。



『学校改革！教職員の時間創造プログラム』及び、働き方改革の広報誌『ニュースレター』について、未だ多くの先生方が内容をご存じないことがわかりました。先生方の働き方改革のため役に立つ情報が提供できるように、また、ご多用な毎日の中でも気軽に楽しんで読んでいただけるよう、工夫していきたいと思ひます。取り上げてほしい内容等がありましたら、ぜひ学校改革推進課までお知らせください。参考にさせていただきます。

mail : gakkokaikaku@city.kumamoto.lg.jp



詳しくは[熊本市ホームページ](#)に掲載しております

この他、働き方改革として効果があった取組や働き方改革についてのご意見など、自由記述でもたくさんのご回答をいただきました。ご協力、大変ありがとうございました。結果を整理分析し先生方の働き方の現状を理解することで、更なる取組の推進につなげていきたいと思ひます。今後ともご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

次号からは、7月から行っているプロジェクト会議各分科会の内容のご報告と、学校での働き方改革の取組の様子などについてご紹介いたします。